

渡辺復興大臣の福島県訪問ぶら下がり会見録

(平成30年12月19日(水) 15:50-15:55)

於) 産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所(FREA)

1. 発言要旨

本日は、Jヴィレッジ、富岡町の富岡駅と夜ノ森地区、大熊町の大川原地区、浪江町の福島水素エネルギー研究フィールドの予定地、広野町の県立ふたば未来学園高等学校、そして、ここ産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所FREAを視察いたしました。

Jヴィレッジでは本年9月にオープンした全天候型練習場を始め、7月の再始動後の様子や、来年4月の全面再開に向けた整備状況を視察してまいりました。

富岡町、大熊町では町の拠点整備の様子を視察いたしました。避難指示の解除に向けて、着実に事業を進めております。

ふたば未来学園高等学校では校内を視察するとともに、来年4月の中学校開校に向けた準備状況についてお話をお伺いしたところでございます。

福島水素エネルギー研究フィールド予定地やFREAでは施設整備や研究開発の状況を視察したところでございます。

福島イノベーション・コースト構想は福島復興の切り札であります。その実現に向け、地元とともに緊密に連携しながら、政府一丸となって取り組んでまいります。

2. 質疑応答

(問) 大臣に2点お伺いさせていただきます。

まず1点目なんですけども、いろんな御視察を今日されたと思うんですが、特に今帰還困難区域になっている富岡町の夜ノ森地区と、あと大熊町の方を視察されたと思いますけども、実際に現場を御覧になってどういうようにこうお感じになったかという、その所感を是非お願いできればと思います。

(答) 共に避難指示区域ということで、まだ大変な状況だということをこの目で見させていただきましたけれども、例えば大熊町であれば、大熊町の新たな庁舎建設、着実に進んでいるというふうに思います。

また、富岡町の拠点の関係でありますけれども、夜ノ森駅、この駅の開通に向けて今着実に進展しているのではないかな、そのように思っております。

それぞれの町長から思いをしっかりと受け止めながら、できるこ

とを全力で応援をしていきたいとそうのように思っております。

(問) ありがとうございます。いろんな場所を今日御視察されたと思いますけれども、今、ポスト復興庁の話もありますが、実際に大臣御自身で御覧になった現場の御体験を、今後の議論にどのように生かしていこうと思っていらっしゃるかということをお聞かせ願えますでしょうか。

(答) 昨日、課題の整理を公表させていただきました。

本日、その課題の整理と、また新たに自分自身の目を見て、またお話をお伺いしたわけであります。したがって、この点についてはしっかりと今検討し、来年の3月までに正に一定の方向性を示してまいりたいというふうに思っております。

(以 上)